

# 沖縄への基地押しつけではなく、全面撤去へ！



## ～『標的の村』上映&山城博治さん激励报告会～

8月5日午後4時過ぎ、嘉手納基地所属のHH60救難ヘリが在沖縄兵隊基地キャンプハルセン内の森林に墜落炎上した。宜野座村の住宅地区から2キロ、飲料用の大川ダムからわずか二十メートルの地点だ。沖縄の人びとの怒りと恐怖は想像を絶する。

7月末に岩国に搬入されていたMV22オスプレイ12機の内の2機が普天間に降り立ったのが8月3日。普天間の野嵩ゲートでは連日抗議行動が展開されていた。墜落事故からわずか一週間後、米軍は一時的停止していたオスプレイ追加配備を再開した。

日米両政府による、終わることのない沖縄への基地押しつけ政策。山城博治さんの沖縄現地報告を受け、私たちに何ができるか、共に考えたい。

『標的の村』は、オスプレイが配備されることになった沖縄県、東村・高江の村の人々の姿を捉えたドキュメンタリー。2012年12月1日QAB琉球朝日放送製作放映(47分)。現在、91分の劇場版が公開中。昨年9月の強硬配備に際し、22時間もの間、普天間基地ゲート前での座り込み反対運動に従事した村民たちの心境とありのままの姿を映し出す。

### 報告 山城博治さん (沖縄平和運動センター)



# 9月9日(月) 18時半

会場 かながわエルプラザ4階会議室  
(JR京浜東北線石川町駅3分 045-633-5413)

資料代(カンパ) 500円

主催：山城博治激励报告会・実行委員会

■代表：伊藤成彦・中央大学名誉教授

連絡：檜鼻達実 携帯090-7402-5245

